

「抜去歯の漂白前後の歯冠の色調およびグラデーションの評価」 の研究について

1. 研究の対象

矯正治療や歯周病により、抜歯が適応と診断され、2022年3月までに抜歯された歯の中から、過去に歯科治療歴がなく、虫歯や着色のない歯を対象としています。

2. 研究目的・方法

目的：立体試料の測定が可能な分光イメージング装置を用いて、歯の測色を行い、専用の解析ソフトで解析することで、漂白前後の色調およびグラデーションの評価を行います。

方法：漂白前後の抜去歯の色調を計測する具体的な方法として以下の手法で行います。

- ・分光イメージング装置にて漂白前と漂白後の色調を計測します。
- ・専用の解析ソフトを用いて、漂白前後の色調およびグラデーションの差を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料は、今まで虫歯による治療歴がなく、かつ着色のない歯で、矯正治療や歯周病により、抜歯となった前歯、第一小臼歯、第二小臼歯を対象とし、研究用に採取するデータは同歯の色データです。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科

住所：大阪府吹田市山田丘 1-8

研究責任者：若林 一道

研究分担者・相談窓口担当者：田中 美裕 (06-6879-2946)

本研究では、矯正治療の際や、歯周病により、抜歯適応の診断のもと、抜歯となった歯を使わせていただきます。利用する色調データからは、患者様を直接特定できる個人情報はありません。研究成果は今後の歯学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報はございません。なお、本研究のデータに関し、すでに研究成果が学会や論文などで公表

されていた場合などには、結果を破棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

貴重な抜去歯を提供してくださった患者さんには、ご協力に感謝申し上げます。